

丹羽宇一郎著「金融無極化時代を乗り切れ！」文芸春秋社 2009年3月1日刊を読む

知恵とは知識と知識を連結する力

1. 今、世界は猛烈な勢いで構造が変わってきています。経済しかり、環境しかり。国内においても、少子高齢化や格差の拡大、あるいは食糧の問題などが山積しています。
2. そうしたなかで、リーダーに何が求められているのか。私は、「知恵」だと思っています。
3. 世の中で人の上に立つ人は、ほとんどが立派な大学を出て、MBA を取得して、いわゆるエリートと呼ばれています。しかし、受験勉強で仕入れた知識がいくら頭に詰まっているからといって、それがリーダーたる者の資格にはなり得ません。学校の試験で習った知識など、今はインターネットで即座に出てきます。「富士山は日本で一番高い山だ」といった類いの知識は、それだけでは何の役にも立たない時代なのです。
4. むしろ必要なのは、知識と知識を連結する力です。つまり、たくさんある知識を縦割りでタンスの中に収めているだけでなく、一旦それを全部出して機能的に組み立てていく。「Cross-functions」の力ということです。
5. この知識と知識を連結する力を「知恵」といいます。急速に変化する時代にあって、日本が世界に伍して闘っていくために必要なこととは、繰り返しになりますが、それは「人と技術」以外にないのです。これを十分に発揮するには、リーダーたる人々の「人間としてのあり方」と、知識に裏打ちされた「知恵」を駆使していく以外に方法はありません。

P201 ~ 202

[コメント]

世界大不況を乗り切るためにリーダーに限らずすべての人に求められることは、知識と知識を連結する知恵である。丹羽氏のこの考えは正に卓見だと考える。

- 2009年5月7日林明夫記 -